

読書の小径

こみち

No.64

雑誌

7月21日から8月20日までの「雑誌愛読月間」にちなみ、今月は雑誌をめぐる本を紹介しします。

新井恵美子『マガジンハウスを創った男 岩堀喜之助』。

「明星」と並ぶアイドル雑誌だった「平凡」を創刊し、育て上げた岩堀喜之助の生涯を、長女でノンフィクションライターでもある著者がつづります。岩堀が平凡出版をつくったのは35歳の時。それまで雑誌の経験はなく、娯楽を否定するような戦争時代の苦い経験から、庶民の楽しめる雑誌を作りたいと熱い思いで立ち上げたのがこの出版社です。



1983年、岩堀の死の翌年、平凡出版はマガジンハウスへと社名を変更しました。

赤木洋一『「アンアン」1970』。前作『平凡パンチ』の回顧録です。「平凡パンチ」は東京オリピックのあった1964年に、「アンアン」は大阪万博のあった1970年に創刊されています。

「文藝春秋」2003年9月号の特集では、日本の黄金時代を1964年から1974年の10年間としていますから、両誌はこの黄金時代に創刊されたことになりませう。女性誌の在り方を変えた「アンアン」



市図書館 ☎1253

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※ が休館日です

開館時間

火～金曜日……………10:00～19:00
土・日曜日、祝・休…10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です

誕生の現場がよみがえります。

坪内祐三『私の体を通り過ぎていった雑誌たち』。「少年マガジン」「ガロ」「宝島」

「面白半分」「カイエ」「ブルータス」など、古い雑誌を眺めれば、そのころの記憶が、時代の空気が、よみがえってくる。小学生時代、夢中になったプロレス雑誌。中学で初めて定期購読を経験した映画雑誌。高校では、ロックに目覚め音楽雑誌を読みふけり…。60年代から80年代にかけて、雑誌が一番面白かったあの時代の全34誌を思い出とともに振り返ります。



9月

催し物だより

陶史の森 ナチュラルセンター ☎5144

●秋の虫の音教室

日時 9月6日(土)

午後7時～9時
(雨天中止)

内容 秋の虫の鳴き声を聞き楽しむ

対象 小中学生・家族

※事前に申し込みが必要

●草木染め教室

日時 9月14日(日)

午前9時～11時30分

内容 いろいろな植物を使って草木染めをする

対象 小中学生・家族

※事前に申し込みが必要

●バードウォッチング

日時 9月28日(日)

午前9時～11時30分
(雨天中止)

内容 夏の野鳥観察

対象 家族・一般



ツバメ
夏鳥。赤褐色ののど。人家に深いおわん形の巣をかける。主に空中で生活し、飛びながら虫を捕る。



お願い 陶史の森は、動植物を保護しています。山野草やミズゴケなどを絶対に採らないでください。また、陶史の森およびせせらぎ公園へのペットの立ち入りはご遠慮ください。